

ユビキタスネット社会におけるプラットフォーム機能のあり方に関する研究会 (第6回) 議事要旨

1 日 時

平成17年7月6日(水) 10時00分から12時00分

2 場 所

総務省 第1、2、3会議室(地下2階)

3 出席者(敬称略)

(1) 構成員

林敏彦(座長)、浅野睦八、池田茂、岩浪剛太、大森慎吾(代理 島田)、岡村久道、冲中秀夫、熊谷美恵、斎藤俊一、杉原章郎、高木治夫、高橋秀明(代理 大西)、竹田陽子、寺田航平、蓮水恵継、畠中優行、森泉知行、山崎宇充

(2) 事務局

清水統括官、松井審議官、吉崎総合政策課長、今川総合政策課課長補佐

4 議 題

(1) 前回の指摘事項の確認

(2) 研究会の今後の運びについて

(3) 最終報告書(案)について

(3) に対して、各構成員の間で以下のような議論が交わされた。

【第1章 ICT産業の現状 について】

○ P13『4つのレイヤの定義』には、「アプリケーション層とは…、プラットフォーム層とは…」といった定義を記載したほうがよいのではないか。

【第2章 プラットフォームの現状と課題 について】

○ 『2.1 プラットフォームとは』で示されているプラットフォームの定義は、上下層に挟まれているという定義が強すぎる。様々なプレーヤー、アプリケーションが利用する共通の場であり、上下層のフレキシビリティ・拡張性が増すという表現を中心にしたほうがよい。

○ 『図表 2.3 インターネットアクセスにおける主な課金・決済方法』はインターネットアクセスだけを

対象としたオンライン決済を示しているのか。

○ 『2.4.4 事業者調査から抽出された課題 ⑤国際競争力』について、必ずしも「デファクトスタンダード」を目指すだけでなく、積極的に国際標準化への貢献を行うべきであり、この点については官民協力して行える面もあるのではないか。

○ 『2.4.1 利用者サイドから見た課題－電子商取引－』について、電子商取引の範囲を整理したほうがよい。

○ 『2.4.4 事業者調査から抽出された課題 ③著作権処理』でパブリックドメインの整備と記載されているが、パブリックドメインとは主に著作権の権利が既にあるものを指すため、ここではパブリックドメインという用語を見直したほうがよい。

【第3章 プラットフォーム機能の充実に向けた取組 について】

○ 『3.1 ユビキタス社会に向けたプラットフォームの展望 ②実物系ネットワークの確立』は必ずしも端末層ではなく、ネットワーク層やプラットフォーム層にも関連する。

『3.2.1 民間系プラットフォーム 課題②オンライン決済の利用』において、日本ではオンライン決済の利用が十分に普及していないとあるが、携帯電話等では普及している。オンライン決済の利用ではなく、日本ではクレジットカードの決済が十分に普及していない点が大いではないか。

『3.3.1 民間系プラットフォームにおける行政の取組 ①課金・認証の円滑化』の電子申請の例は民間系の事例としては適切ではない。また、第2章まで主に BtoC であったが、第3章で急に BtoBの話が出てきているため整理が必要である。

○ 『3.3.4 各プラットフォームに共通の基盤の整備』にある③制度改革等の窓口機能について、日本国内の省庁間の調整を期待している。

○ プラットフォームの様々な課題が整理されているが、それを実現するためのビジョンと費用を示すことが必要ではないか。

○ ご指摘の点は国家的な戦略の問題であるため、u-Japanのレベルの議論として捉えていけないといけない。また、中央省庁だけでなく、地方自治体における取り組みもバラバラではないが、全体としてのスタンダードを示すのも難しいため悩ましい部分である。

○ 公共サービスの分野では、企業や国民との窓口の電子が目立っているが、行政内部の電子化・プロセス改革が伴っていないため、ますますコストがかかってしまう。

- 戦略的な発想としては、外との窓口から先に電子化して、その後内部の標準化が進むという気もしないではない。
- 『3.3.4 各プラットフォームに共通の基盤の整備』に示されている安心・安全について、利用者の端末管理の支援という施策が非常に重要である。
- 『3.3.3 公共系プラットフォームにおける行政の取組 ②電子政府・電子自治体の基盤整備』について、地方自治体のサービスの80%は地域の特徴が不要な共通的に提供できるものであって、20%が地域の独自性や主体的に推進していくものであると思う。例えば政府がリーダーシップを取り、先進的な自治体をモデルとして、共通的なものを開発すれば80%の部分はカバーできるのではないか。そのためのテストベッドが重要である。
- アプリケーションやコンテンツの利用拡大によりプラットフォーム機能整備も進むと考えると、ユーザ視点からみて一番の問題はセキュリティの整備である。プラットフォームを整備していく中で、公的な監視や法令の整備などを具体的に書いておく必要もあるのではないか。
- セキュリティに関連して、匿名であることを守る(認証する)という構造も、将来的にはプラットフォームでは重要ではないか。
- セキュリティに関する、最も大きなセキュリティホールは人間であり、利用者自身が気づかぬうちに犯罪者になったり、賠償金を請求されたりする可能性があるため、いろいろな方法でシステムや社会の信頼性を高めていかななくてはならない。

以上